

会議名	令和3年度第1回四街道市青少年問題協議会会議録	
日時	令和3年12月16日(木) 午前10時00分～午前11時30分	
会場	四街道市役所 5階第1会議室	
出席委員	社会福祉協議会【齊藤康治】委員 小・中学校長会【木内靖】委員 PTA連絡協議会【後藤陽子】委員 子ども会育成連合会【佐藤光江】委員 保護司会【柴山充江】委員 市民公募委員【中原三代子】委員 市民公募委員【山岸竜治】委員	社会教育委員【金子篤正】委員 四街道警察署【大熊隆志】委員代理【小沢信】氏 青少年補導委員連絡協議会【久保木利雄】委員 体育協会【清水悦美】委員 レクリエーション協会【中島隆】委員 市民公募委員【中村さとし】委員
欠席委員	青少年相談員連絡協議会【小池克彦】委員	民生委員・児童委員協議会【内貴隆】委員
事務局	市長【佐渡斉】 青少年育成センター所長【鶴田和則】 スポーツ青少年課長【田中紀道】 青少年担当【木村昌士】	教育部副参事【末永忠幸】 青少年育成センター【萩原壘樹】 スポーツ青少年課青少年係長【大野雅子】
傍聴人	0人	
会議次第	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 会長挨拶 4. 市長挨拶 5. 委員・事務局紹介 6. 報告事項 (1) 令和2年度 青少年関係事業報告(スポーツ青少年課・育成センター) (2) 令和3年度 青少年関係事業計画(スポーツ青少年課・育成センター) 7. 議 題 (1) 第44回四街道市青少年健全育成推進大会の実施について (2) その他 8. その他 9. 閉会	

1. 開会	
事務局：田中	定刻になりましたので、只今より「令和3年度第1回青少年問題協議会」を開会いたします。
2. 委嘱状交付	
3. 会長挨拶	
4. 市長挨拶	
5. 委員・事務局紹介	
事務局：田中	— 一人ひとり名前を読み上げ紹介 —
	— 市長退席 —

事務局：田中	議事に入る前にご報告します。本日の出席委員は13名です。従いまして四街道市青少年問題協議会条例の規定に基づく過半数の定足数に達していますので、本会議が成立することをご報告します。それでは、四街道市青少年問題協議会条例第5条に「協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。」とありますので、これ以降の会議の進行につきましては、齊藤会長にお願いします。
齊藤会長	これより、会議の進行を務めさせていただきます。 審議に先立ちまして、本会議の公開・非公開の決定についてお諮りします。原則公開でございますが、審議内容によっては非公開にすることも可能でありますことを申し添えた上で、本日の本会議を公開することと決定してよろしいでしょうか。
委員	— 異議なし —
齊藤会長	それでは、公開とします。傍聴人はいらっしゃいますか。
事務局：田中	現在のところ傍聴人はおられません。
齊藤会長	次に本会議の議事録の取り扱いについてお諮りします。1点目ですが、議事録に発言者氏名を記載するか否について、お諮りします。議事内容に特に支障がない限り、審議内容の透明性を図るうえで、発言者の氏名を明記させていただきたいと思っております。2点目として、議事録の作成についてですが、「要点筆記」による議事録とさせていただきたいと思っております。 また、議事録の正確さを期すため、本会議での発言を録音させていただきますことを、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。何かご意見はございますか。
委員	— 異議なし —
齊藤会長	ご意見がないようなので、3点目に議事録署名人についてお諮りします。2名の議事録署名人を選出することによろしいでしょうか。
委員	— 異議なし —
齊藤会長	それでは、2名選出します。 私が指名させていただいてよろしいでしょうか。
委員	— 異議なし —
齊藤会長	今回は、市民公募委員の中村委員と山岸委員にお願いしたいと思っております。
6. 報告事項	
事務局：大野・菫	(1)令和2年度青少年関係事業報告(スポーツ青少年課・青少年育成センター)

原	(2)令和3年度青少年関係事業計画(スポーツ青少年課・青少年育成センター)
齊藤会長	ただいま説明があった2件について、何かご質問はありますか。
山岸委員	不登校の対応について、文科省は問題行動と判断しないと言っているが、センターでは共有しているか伺いたい。
萩原	当センターでは、学校と不登校のお子さんと相談業務を行い、家庭と連携しつつ、スクールソーシャルワーカーを配置し、いろいろな悩みに対応できるように取り組ませていただいています。
山岸委員	個人的には、不登校は問題行動の場合もあると捉えています。文科省ではそのように判断していない。例えば、フリースクールなどの学びの場を用意することも地方自治体の役割ですが、教育機会確保法を踏まえて、新しい不登校対策に転じているのか伺いたい。
鶴田	文科省の言われていることを元にして考えています。
山岸委員	シフトチェンジはまだ明確にはしていないということですか。
鶴田	そうですね。
山岸委員	痴漢や露出の犯人は捕まっているのでしょうか。
萩原	情報は四街道警察と連携していますが、個人情報はありません。センターは子どもたちへの注意の発信のみです。
中村委員	かつて中央小学校の中にフリースペースがあったと思うのですが、今も存在していますか。
萩原	今も継続しております。子どもたちの居場所になっています。
齊藤会長	不登校について今はコロナ感染が怖いから学校へ行かないという子もかなり増えていて、学習の遅れが心配な子にはタブレットを使って支援し、その場合は欠席扱いにならないそうですね。その場合、不登校数も変わってくると思います。そのあたり学校現場でどうですか。
木内委員	さまざまな学びの機会をとということで、学校へ必ず来いではなく、一番適した形を念頭に置いて、保護者と相談しながら個別の対応を行い、タブレットも活用しています。
齊藤会長	リモートで顔は見せずにチャット形式で先生と対応できるようになったのは大きな変化だと思います。
7. 議題	

事務局：大野	議題(1)「第44回四街道市青少年健全育成推進大会の実施について」 規模の縮小や変更など具体的な案がございましたらよろしく申し上げます。
山岸委員	日時が例年どおりに戻ってしまった事情を教えてください。
事務局：大野	会場の文化センターに既に他の団体の予約が入っていたためです。
山岸委員	印旛郡の他の大会と重なるからという理由で動かしたと思いますがそれはさしつかえなくなったのですか。
事務局：田中	印旛郡市民スポーツ大会は午後からを予定していますので、式典については青少年の大会と重複しません。職員数が限られておりますので別日の実施の方が望ましかったことから、当初別日をご提案したのですが、職員配置等を調整して開催に向け対応いたします。
山岸委員	講師、演題の決定は2月頃ですか。
事務局：大野	2月下旬から3月上旬に小委員会を開催して選考していただく予定です。
山岸委員	キャンペーンについては、大会をやるのが前提で、コロナの影響がたいしてないという想定ですか。
事務局：大野	おっしゃるとおりです。感染状況によっては、大会自体の中止もありえます。
山岸委員	中止となると3回目となることから、開催判断の基準を作って大会の開催・中止に対する説明責任を果たした方が良いのではないかと。
齊藤会長	キャンペーンも含め、大会ができるかどうかの判断は誰が行うものですか。
事務局：田中	開催の判断はある程度市が先導して行います。感染状況、市全体のイベントの状況に応じて判断することになります。 室内に大勢が集まりますから、国から出ている判断基準を参考にします。
齊藤会長	市の他のイベントとの兼ね合いとなると思うが、開催の判断は4月になってからですか。
事務局：田中	最終判断は、例年通りのスケジュールでは5月頃です。
齊藤会長	他に、ご質問のある方はお願いします。
後藤委員	PTAでは、例年参加人数を各学校にお願いしていますが、今までどおりの人数を予定しているのか。その心づもりで準備していた方が良いのか。その予定を教えてください。

	新年度の準備をしたい。
齊藤会長	今の段階では人数など規制は考えていないのですよね。
事務局：田中	はい、例年通りとなります。
齊藤会長	規制がでたら連絡するということで。
後藤委員	例年通りの準備を行い、臨機応変に対応します。
中原委員	アンケートについて、長いこと同じ様式を使っているものと思いますが、個人的には一番下の設問をもっと書きたいと思います。アンケートで市民の声を拾いたいのであれば、枠を広げてもよいと思う。アンケートの様式を見直し市民の声を拾えるようにして今後の活動に生かした方がよい。
後藤委員	QRコードをアンケートにつけて、持ち帰り記載する方が熟考できると思う。
齊藤会長	アンケートをゆっくり書く時間は、どの大会、講演でも無い。回収率もどの大会も低い。QRコードを付けるのはよい案です。
事務局：大野	次回の小委員会で内容の精査をしたいと思います。スペースが小さいことに対しては、改善の余地があるので検討したいと思います。
山岸委員	前回の小委員会で「アンケートの内容を共有した方がよいのではないか。それを反映した取組を行うことが良い。アンケートを貰ったままというのは避けたい。」というお話をしたと記憶していますがどうでしょうか。
事務局：木村	小委員会の中での議論は、今までの議論を議事録に残していくことが必要である。行っていた議論が委員の交代などでゼロに戻らない仕組みが必要であるという意見がありましたこと補足します。
中村委員	中原委員がおっしゃったように、枠を広げるということは大事だと思います。誰がどういう想いを感じているのか、記述式で書いてもらうアンケート形式は大切だと思います。
柴山委員	アンケートの設問は各設問それぞれに意味があるのではないかと思います。これまでの設問を参考にさせていただきたいと思います。また、設問を見直すにあたり、第一問の参加回数を確認する意図はどういうところにあるのか気になります。
事務局：大野	設問は過去のをそのまま生かしているものですが、スムーズに設問に入っていくためのアンケートのとっかかりとして設けられているものかと思います。
齊藤会長	参加回数は、初めて参加する人、複数回参加経験のある人、それぞれで大会への感想、感じ方が変わるのではないかと、その違いを分析に生かすのが普通かと思います。

後藤委員	PTA では、保護者に何人くらい参加していただく必要がありますか。
事務局：大野	令和元年度の集計では、小学校 PTA305 人、中学校 PTA214 人参加という記録がございました。但し、重複受付があるので概算として大体 500 人くらいです。
事務局：田中	参加者数が何人参加したかという実績よりも、このようなコロナ禍の状況下で開催をできたということの評価したいと思っております。よって人数について無理に集めてほしいという訳ではありません。
久保木委員	PTA に関して、受付だけしてそのまま帰ってしまう人がかなりいます。参加ではなく、出席してもらうことが大事です。
佐藤委員	少年の主張の発表者について、青少年育成に関わっている市内の団体の方も主張できるようにできないか。また主張の少年とはどのくらいの年齢までの者ですか。
齊藤会長	少年の主張は青少年であることで、青少年は高校生までですね。
齊藤会長	推薦団体（学校）以外の団体にも発表したい団体に所属の少年はいますか、といった問いかけを行うのも一つの方法だと思いますが事務局はどう考えますか。
事務局：田中	事務局としては輪番制を生かしていきたいと思えます。公募方式を合わせてとることも考えられなくはないですが、大会時間の伸長や事務処理、職員配置などの課題もあり、慎重な判断が必要であると考えます。
山岸委員	この判断はいつまでに決まるものですか。
事務局：田中	来年開催予定の小委員会を考えています。
齊藤会長	各委員から感想を聞きたいと思えます。
各委員より	（各感想）
齊藤会長	アンケートの件、少年の主張の件などいくつか課題がありましたが、本日提案された内容で大会を実施する予定ですすめさせていただきます。
事務局：田中	議題（２）「その他」 次回の会議は、2月下旬から3月上旬に第2回小委員会を開催予定です。今日出た課題についてご報告させていただきます。
8. その他	
山岸委員	通学路の危険箇所はどこに連絡をすればよいのでしょうか。

事務局：末永	教育委員会の学務課となります。
9. 閉会	

会議録署名人 中村 さとし
山岸 竜治